

平成30年度

分科会施策の管理シート

分科会名	次世代創造分科会	会長	谷 秀樹
------	----------	----	------

重点項目	次世代を担う人口量の確保	数値目標	【達成時期】平成31年(国勢調査ベースのものは平成32年) 【目標値】①出生数257人、②有配偶率52.1%、合計特殊出生率1.65	分科会事務局	女性こども課
------	--------------	------	---	--------	--------

期 初(前年度末まで)	期 中(~9月)		期 末(~2月)…進捗・評価は見込で可		次年度へ			
	分科会事務局	分科会の意見	分科会事務局	分科会の評価				
【施策名・概要】	【実行する内容】	【選定した理由】	【目指す成果】	【分科会事務局】	【分科会の意見】	【分科会事務局】	【分科会の評価】	【課題、進捗管理継続の要否等】
いつ、何を、どのように 等	どのような必要性に基づくのか 等	施策を実行した結果、どういった成果が現れる(水準、状態等を数値で)、その検証方法 等	施策の進捗状況	見直し、課題、助言等の内容	実績及び成果に係る自己評価	評価	達成度・成果について	評価
1	府中市子育て世代包括支援センター構想策定 国の示す「子育て世代包括支援センター」及びひろしま版ネウボラをベースに、府中市の実情に合わせた機能、体制を当分科会で議論し府中市子育て世代包括支援センター構想に反映させる。	国、県の用意した「既製品」の子育て世代包括支援センターではなく、当分科会の各委員の専門性を活かした意見を取り入れることで、府中市に合ったセンターの設置が見込める。	府中市子育て世代包括支援センターの設置に向けて、開設時期、設置場所、担う役割及び実施業務などの構想を明らかにする。 ・年度内に「府中市子育て世代包括支援センター構想」の策定。					
2	第2次府中市子ども・子育て支援計画策定事業 平成31年度までの現行計画に続く第2次計画の策定に向け、根拠資料となるニーズ調査を実施する。 ・平成30年度…ニーズ調査 ・平成31年度…計画策定	府中市子ども子育て支援事業計画は、市の子育て支援策の根拠となるものであり、その策定においては当分科会が兼務する子ども子育て会議の意見反映と進捗管理がふさわしい。	計画策定の根拠となる、ニーズ調査の集計及び分析データの作成。					
3	放課後児童クラブ見直し事業 市内放課後児童クラブ運営体制の見直しを行うことにより提供サービスの質の向上を図る。	平成30年度より担当課を学校教育課から女性こども課に変更することにより、放課後児童クラブが「学校併設の事業」ではなく「子ども家庭福祉における事業」であることを明確にするため。	放課後児童クラブ支援員に対する研修の実施(年2回)、支援員資格取得研修への参加(年1回)、保護者アンケートの実施、(予算的に可能であれば外部機関からの指導助言を受け)次年度に向けた制度構築					
4								
5								

- (注意事項)
- ① 重点項目ごとに、必ず管理シート1枚以内にまとめること(進捗管理する施策の選択等)。施策の選択の際は、重点項目の目標達成にどの程度貢献するのかも考慮すること。
 - ② 目指す成果の項目には、量的把握が可能なものは全て計量化・数値化することとし、不可能なものについても、望ましい状態や 結果、目標が達成された場合の状態等を具体的に明示すること。
 - ③ 達成度・成果の評価においては、施策の実行に当たってのプロセスも考慮し、総合的な視点から判断を行なうこと。評価の基準については、別紙の「施策の実績・盛夏に係る評価の基準」を参考にすること。
 - ④ 各施策の詳細(具体的な取組等)について、別に資料を添付しても良いこと。

特記事項	
------	--